

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	輝くまち	政策名	快適で住みやすいまちづくり						
施策 No.	33	施策名	水道水の安定的な供給						
主管課名	上下水道課								
関係課名									
10年後の目指す姿	安全でおいしい水が安定的に供給されています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設全体の耐震性能を向上させるため、耐用年数を経過した基幹管路の老朽管更新と併せて耐震化に取り組んでいます。 料金の適正な改定を行い、耐震化など施設更新に必要な財源の確保に努めています。 							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> 浄水施設や配水池の耐震化を進めるには、多額の工事費が必要なことから、更新費用の平準化を図りながら計画的に行う必要があります。 人口減少に伴う給水人口の減少や、節水機器の進歩と節水意識の高まりなどから、今後、給水量の低減が予想されます。適正な水道料金の見直しを定期的に行う必要があります。 包括的業務委託やコンセッション方式の委託なども視野に入れ、維持管理費の節減方策を検討していく必要があります。 							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> 将来も水道を安心して利用できるよう、計画的な施設整備、更新に取り組めます。 人口減少による将来の収支への影響を予測しながら、持続的な事業経営を行います。 							
	市 民 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の汚染や漏水がないように注意して給水装置を管理します。 受水槽を設置する場合は、その規模に応じて適正な管理を行います。 							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	水道施設の整備							
	基本事業②	安定した水道事業経営							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	5 (5)	5 (5)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	817,912	736,365				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	295,339	234,608				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	522,573	501,757				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	39	39					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	17,960	16,970					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	70,457	65,776					
F. トータルコスト（B+E）		千円	888,369	802,141					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の								
	G. 事業費（定義式：B/人口）		円	20,207	18,446				
	同 上								
	H. 人件費（定義式：E/人口）		円	1,741	1,648				
同 上									
I. トータルコスト（定義式：F/人口）		円	21,948	20,094					
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	33	施策名	水道水の安定的な供給
基本事業名	①水道施設の整備		
基本事業の目的(意図)	アセットマネジメント(資産管理)を適正に行い、施設の計画的な更新に努めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【簡易水道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・升方簡易水道の老朽管(配水管)250mを更新しました。 <p>【増補改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路169m(送水管169m)を耐震管に更新しました。 ・老朽管995mの更新を行いました。 <p>【拡張事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道仏田26号線に配水管90mを布設しました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
基幹管路の耐震化率	%	15.2	17.8	19.5 21.6	21.4 22.6	23.3	25.2	27.1	36.6
浄水施設の耐震化率	%	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	9.1	18.2	27.3	72.7

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	簡易水道事業特別会計	簡易水道事業	20,149,846	15,640,249	4,509,597	-	上下水道課
2	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業	214,623,200	214,623,200	0	A	上下水道課
3	水道企業会計(資本的支出)	拡張事業	4,500,000	4,345,000	155,000	-	上下水道課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			239,273,046	234,608,449	4,664,597		

基本事業概要シート②

施策 No.	33	施策名	水道水の安定的な供給
基本事業名	②安定した水道事業経営		
基本事業の目的(意図)	維持管理費及び建設事業費の節減方を研究しながら、効率的かつ安定的な経営に努めます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【水道管理運営事業・簡易水道管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上水道及び簡易水道施設の維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替を行いました。 ・使用料の請求及び徴収業務を行いました。 <p>【水道管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰対策としての水道料金等の減免を実施しました。(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品高騰対策)) ・モンドセレクション最高金賞を受賞している「うおづのうまい水」の年間販売数は、前年度比4,912本増の20,001本となりました。 		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
料金回収率	%	98.7	114	100 105.8	100 110.4	100	100	108.5	100.9

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	水道事業会計(収益的支出)	簡易水道管理事業	42,757,000	35,405,565	7,351,435	-	上下水道課
2	水道事業会計(収益的支出)	○ 水道管理運営事業(ボトルドウォーター事業分除く。)	504,587,000	466,351,736	38,235,264	B	上下水道課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			547,344,000	501,757,301	45,586,699		

施策 No.	33	施策名	水道水の安定的な供給
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆水道管路の更新率は、令和4年度は0.35%増であり、年更新率1%に満たない状況が続いています。 ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路169m(送水管169m)を耐震管に更新したことにより、基幹管路(導水管、送水管、配水本管)の耐震化率は、前年度比1.0ポイント増の22.6%と向上しましたが、県内10市の中では下位(令和3年度末21.6% 10市中8位)にあります。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆料金回収率は、110.4%(令和3年度:105.8%)で昨年度を上回っています。(物価高騰対策としての水道料金等の減免分は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品高騰対策)の繰入により補填しております) ◆建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制することを目指していましたが、令和4年度の充当率は56.5%(令和3年度:55.5%)であり目標を達成できています。 ◆料金収入に対する企業債元利償還金の比率は、57.55%(令和3年度:49.4%)と高い状況にあります。企業債元利償還金が多額であり経営を圧迫していることが指標からみてとれます。 ◆水道料金は、令和元年10月に増額改定を行いました。消費税増税分を除く本体部分の改定としては、平成10年4月以来約20年ぶりの改定です。家庭用料金(20㎡/月あたり)では、県内10市の中では5番目の低さです。 ※参考:3人世帯の標準的な使用水量20㎡/月の水道料金 魚津市3,080円、黒部市1,673円、滑川市1,894円、県内10市平均3,094円(令和2年度末現在) 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【基本事業①、②共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年度策定「魚津市水道事業新水道ビジョン」に基づき、水道施設の更新・耐震化を計画的に実施するとともに、コスト縮減、有利な財源の活用、水道料金の適正化についての検証等、継続的に取り組み、安定的な水道事業経営につなげています。 <p>【①水道施設の整備】</p> <p><簡易水道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆升方簡易水道の老朽管250mを更新しました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生活基盤施設耐震化等交付金事業(国庫補助事業)を活用して基幹管路169m(送水管169m)を耐震管に更新しました。 <p><拡張事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市道仏田26号線に配水管90mを布設しました。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <p><水道管理運営事業・簡易水道管理事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「うおづのうまい水」が5年連続(2017-2021)モンドセレクション最高金賞を受賞しました。 ◆水道管路の耐震化事業の推進のため、一般会計出資債により一般会計からの繰入金を増額しました。 ◆「富山県水道広域化推進プラン」策定検討会に参加し、「富山県水道広域化推進プラン(素案)」の策定に参画しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【基本事業①、②共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年度策定「魚津市水道事業新水道ビジョン」に基づき、水道施設の更新・耐震化を計画的に実施するとともに、コスト縮減、有利な財源の活用、水道料金の適正化についての検証等、継続的に取り組み、安定的な水道事業経営を図ります。 <p>【①水道施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「生活基盤施設耐震化等交付金事業」を活用して、耐用年数を超える基幹管路(導水管、送水管、配水本管)3,735mの整備・耐震化を進めます(平成29年度から令和7年度(9か年))。浄水施設の横枕浄水場については、今後実施予定である更新・改良工事に併せて管路耐震化を進めます。 ◆令和4年度から、升方簡易水道施設の配水管更新を進めています。 <p>【②安定した水道事業経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆経営状態は、黒字ではあるものの、企業債に依存した状況であることから、95%としてきた建設改良費に対する企業債の充当率を段階的に70%以下に抑制し、企業債残高の適正化を図ります。 ◆水道施設管理マッピングシステムにより、管網解析やアセットマネジメント(資産管理)を行い、長期的視点による水道施設の適正管理と業務の効率化を図ります。 ◆簡易水道料金に関しては、上水道料金体系への移行に向けた地元説明を行い、理解を求めています。 ◆水道利用者の利便性向上のため、各種手続きの電子申請化を進めています。 ◆コンビニ収納を開始(令和3年1月実施)し、水道利用者の料金支払いの利便性を向上させるとともに、未収金の抑制を図ります。 ◆一般会計出資債の導入により、水道管路耐震化の推進を図ります。 ◆「富山県水道広域化推進プラン(素案)」に基づき、新川ブロックでの、薬品購入やメーター購入の共同化により、コスト縮減を図ります。 ◆維持管理費用の節減方法として、包括的業務委託やコンセッション方式などについて調査研究を行います。 			